

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果  
(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

業所名 こぼんはうすくら すずかけ台教室 保護者等数(児童数)21 回収数 13 割合 61.9%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3		1		教室は広いので十分スペースが取れていて、児童が安全で楽しめる空間作りをおこなっている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			2		児童が孤立しないように職員が目が届くように配置し、専門性のある申し送りを行うための研修をおこなっている
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2		2		導線ではバリアフリーになっている。設備・職員配置は適切におこなっている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13					保護者のニーズや課題を十分に配慮したうえで、放課後等デイサービス計画を作成している
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11		1	1		活動プログラム・イベントが固定化しないように安全に配慮し外出活動や療育イベントなどイベントプログラムに取り入れている
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	2	8		近隣の放課後児童クラブなどの関わりがもてそうな機関を探して、出来ることから実施している
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					支援内容および利用者負担については、より丁寧に説明している
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1				送迎時の伝達事項とともに、課題について相談事がある場合、共通意識をもって、よりよい療育が出来るように心がけている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13					保護者と密に連絡を取りながら、困りごと、課題についての話し合いを行っている。また、保護者様よりご連絡があった場合には、出来る限り対応している
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	6	4		交流という形ではありませんが、療育参観は可能ですので、一報いただければ対応させていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		5		苦情に対するの体制は整っており、いつでも対応できるようになっているが、周知徹底し、風通しの良い教室にする事を目標とする。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1				連絡帳、送迎時の伝達・情報共有など、保護者様と話し合い、意思疎通ができている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12			1		活動内容は毎月会報やホームページに掲載している。業務に対する自己評価についても掲載している
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	11			2		個人情報に関わる重要書類は、鍵付き書庫に入れ、不要の書類については、シュレッダーで細断し取り扱いには十分注意している
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2	1	4		緊急時の対応など、マニュアルを作成して保護者に周知・説明は行ってはいないので、周知・説明を行っている
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8		1	4		年に2回職員・児童も含め災害の発生に備え避難訓練を行っている
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	1				子どもたちは、次の通所を楽しみにしているので、イベント他も楽しめるように考えている
	18 事業所の支援に満足しているか	13				いつもあたたかく迎えて下さりありがとうございます	子どもたちにも保護者にも満足してもらっているが、サービスの質が低下しないように努める

174 14 11 34

75%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら すずかけ台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	職員が児童全員に目が届くように職員を配置している	利用定員に対し、十分なスペースは確保されている、職員の配置を、児童全員に目が届くようにしている。
	2 職員の配置数は適切である	5	1	広いので職員が少し足りないと感じるが、目がとどかなくならないように、職員を配置している	一人一人で見えるエリアが広いので、注意が行き届かなくならないように配慮を行う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	ミーティングで前日・当日の目標設定を行い、全員が周知出来るよう工夫している。	朝のミーティングで前日・当日の療育・送迎に関して目標設定と振り返りを行う事を、話合っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	保護者からのアンケート結果を活用して保護者の意向として、療育、運営に反映できるように、工夫している。	保護者からの意見を参考にし、運営につなげていけるように改善している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	会報やホームページに掲載して公開しています。	掲載した評価結果を改善課題としてPDCAサイクルで改善していく事を目標にしている
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		外部の者からの指摘については、順次取り込んで、課題とし、業務改善の目標としている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	研修会を開いてスキルの向上を目指してけるように工夫している。	研修会の開催を増やして、各職員個人のスキルをあげることを目標にしている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題について客観的に分析して放課後等デイサービス計画を作成している。	放課後等デイサービスガイドラインに従い、保護者のニーズに合わせ、課題を客観視して、放課後等デイサービス計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	活動プログラムは、放課後等デイサービス計画を基本に、ミーティングを行い、プログラムを立案している。プログラムに偏りが無いように工夫している。	放課後等デイサービス計画を基本に、ミーティングでの意見を取り入れて、プログラムの立案を行っている。目標は常に新しい事に挑戦していく
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	プログラムが固定化しないように、季節ごとに、プログラムを変更する工夫をしている	プログラムが固定化しないように意見をだし、季節ごとに、プログラムを変更している新しい事にも挑戦する事を目標にしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	学習支援もあるので、細かな課題設定を行っている。勉強が嫌にならない様に工夫している	きめ細やかな課題設定など、職員に周知して、全員が同じ指導出来る事を目標にしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	児童の力量に合わせて、個別活動、学習、集団活動を決め、放課後等デイサービス計画書を作成している	保護者のニーズに合わせ、きめ細やかな課題設定を目標にしている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝のミーティングで、確認を行い、分担について話し合って、イベント内容など通所する児童により、工夫して変更している。	現状行っている打ち合わせで、注意事項、支援の内容を確認し、役割分担を確認している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		終了後はミーティングが出来ないため、朝礼の際に行っている、時間が許せば、終了後にミーティングを行い、療育について気づいた点を共有したい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	支援の結果として、連絡帳、日報にも記録をとり、支援の改善につなげている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	定期的にモニタリングを行っている。必要な場合、再度モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しも行うように工夫している	定期的なモニタリングは行っているが、必要な場合3か月未満であっても、モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	必要な支援について、放課後等デイサービスガイドラインを考慮し複数から組み合わせ支援計画を立てている	基本放課後等デイサービスガイドラインに沿って、保護者様の要望を取り入れ、放課後等デイサービス計画書を作成し、計画書に沿った療育を行うことを目標にしている
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	当該児童については、児童の状況に一番精通している児童発達支援管理責任者が参画している	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	保護者様を通し学校との情報共有を行っている。児童の状態を直接担任の先生に聞く場合もあり、工夫して情報共有が適切に行われる様になっている。	基本的には、保護者様からの依頼、学校での状態を担任の先生に伺う。学校での状態を保護者様に連絡することもあり、適切に情報共有は行われているが、口頭なので、児童のトラブルについては課題が残ると感じている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	支援要請があった場合、連携している	児童発達支援センターや、発達障害者支援センター等と連携している。また、助言や研修があれば受けることを目標としている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	学習支援も含め、保護者様と話し合う時間を取り、課題、進捗、児童の状況を報告し、話し合う工夫している。	保護者様に現状の課題・進捗・児童の状況等を報告して共通意識を持ち、また保護者様からの相談事がある場合、対応している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	児童のことなど保護者様からの依頼があれば、行っている	保護者のニーズに合わせ、課題を客観視して行うことを目標としている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	丁寧な説明を行っている。別途実費負担などがある場合は、その都度説明し了承を得るように工夫している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	学習・療育についての助言と支援を行っている。児童たちが、勉強を嫌いにならないようにステップアップで、自己肯定感が上がるように工夫している。	学習面については、児童のスキルと自己肯定感が上がるように、教える側も統一性を持って教えることを目標としている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		現状ではなかなか行えないが、機会を見て行っていきたいと考えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情に関しては、窓口を設置している。苦情窓口と連絡があった場合には、全体でミーティングを行う体制が出来るように工夫している。	保護者からの苦情については、苦情担当を備けて、聞き取り、状態の確認などを行い、報告書に記載するようにし、その事象に対し迅速にミーティングを行い、対処している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月の会報をホームページに乗せている。また、写真に関しては、顔が映らないように工夫している。	毎月会報を出し、ホームページも毎月更新している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	不要になった各個人情報記載された文書についてはシュレッダーにかけてから、廃棄するように工夫している。	個人情報の取り扱いには、書類の管理については鍵付き書庫に格納している。不要になった書類についてはシュレッダーで細断して廃棄している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	児童に障害がある場合には、送迎の際に障害特性を考慮し、移動方法、情報伝達を行うことを工夫している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		現在は行っていないが、イベント・行事などがある場合には、計画して行っていきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	緊急時対策は、対応マニュアルを職員全員がいつでも見られるように、ボードに掲載して工夫している。また、職員にも保護者にも周知している	マニュアルを作成して、掲示板に張り出し、職員全員が参照出来るようにしている。保護者にも緊急時対応マニュアルについて周知しているが、定期的に保護者様とお話することも目標としている。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	避難訓練は、年に2回行っている。訓練の際に避難時間を計測して、素早く避難できるように工夫している。	定期的に避難訓練を行っているが、防火・防災について、知識を深め、災害時にも事故が無い事を目標としている	
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	虐待防止研修会を開き、虐待の種類内容を職員全員に周知させる工夫をしている。	虐待防止研修会を開いているが、虐待防止研修会の内容を職員全員が周知徹底することを目標としている。

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	やむおえない場合の身体拘束について研修会を開いている。当該児童の場合、保護者にも説明し、了承を取っている。	身体拘束について研修会を開いて職員全員がやむ負えないばあいの身体拘束について周知徹底することを目標にしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	アレルギーを持つ児童の表を事務所に張り出し、朝のミーティングで当該児童が通所するかを毎日確認している。	食物アレルギーについては毎朝のミーティングで該当の児童の有無を確認している。保護者様よりアレルギーに関して変更がある場合アレルギー表を更新している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		ヒヤリハットがある場合、即座に担当管理者に報告し、ミーティングで共有している。